

## 会議録

会議の名称	西東京市合築複合化基本プラン策定懇談会 第3回懇談会
開催日時	平成27年8月27日（木曜日） 午後6時～8時
開催場所	市民会館3階 第5会議室
出席者	懇談会委員：伊村座長、沼本副座長、赤澤委員、有賀委員、伊藤委員、小井沼委員、鈴木委員、高松委員、服部委員、馬場委員、廣田委員、山村委員 事務局：田中文化振興課長、岡本社会教育課長、奈良図書館長、伊田公民館長、越沼文化振興課長補佐兼市民交流係長
議題	議題1 前回会議録の確認 議題2 市民会館の現地視察の現地視察 議題3 懇談会ワークショップ 議題4 その他
会議資料の名称	資料1 懇談会ワークショップでの主なご意見 資料2 田無公民館の機能 資料3 中央図書館施設の状況と必要な機能について 参考資料1 合築複合化に関する市議会での意見等（概要）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>○座長： （開会挨拶）</p> <p>○事務局： ・資料確認</p> <p><b>議題1 前回会議録の確認</b></p> <p><b>議題2 市民会館の現地視察</b></p> <p>○事務局（文化振興課）： 市民会館の視察を行います。ご覧いただくのは、主に、未利用スペースである地下の旧厨房や食堂、配膳室等のほか、特徴的な施設として体育室やプレイルーム、多目的室等を予定しています。 今回も平面図を用意していますので、お持ちください。ただし、建築図面であり、市民会館の案内等に掲載されているものとは面積の捉え方が異なる場合があります、数字が合わない部屋もございますが、ご了承ください。 ＜現地説明＞ ・主に未利用スペースの案内を中心にしつつ、多目的室やプレイルーム等の施設・設備の状況を確認。 ・広い機械室についても、設備更新すれば縮小可能である旨を説明。</p> <p><b>議題3 懇談会ワークショップ</b></p> <p>○座長：</p>	

それでは、前回に引き続き、懇談会ワークショップを行います。

宿題メールとして他自治体における事例紹介も送らせていただきましたが、それがそのまま西東京市で使えるわけでもないですし、賛否両論あるものも含まれています。あくまで刺激として送ったものですので、勉強として受け止めていただいて、西東京市にはどんな施設が必要なのかということを考えていけたらと思っています。

前回の会議で、図書館と公民館の方から資料を出したいという話があったので、まずその説明から始めたいと思います。

図書館の方からお願いします。

○委員A：  
(資料3の説明)

○座長：  
それでは、続けて公民館の方からも説明をお願いします。

○委員B：  
(資料2の説明)

○座長：  
図書館・公民館について説明をいただきましたが、本日、市民会館を視察しましたので、そちらについても説明があればお願いします。

○委員C：  
文化芸術振興推進委員会の方の議論をここにお持ちするのは控えたので、今日は個人的な意見としてお話しします。

市民会館をつくり直すというと、今あるものをベースに考えられがちですが、もともと結婚式場として利用されていた施設という経緯もあり、文化を発表する施設としては機能が乏しく、また駅から遠く利便性が低いといった声が利用者からよく聞かれ、希望としては、もう少し田無駅の近くに、充実した近代的な1,000人規模のホールがほしいと思っています。

市報を見ていると、市民会館不要論もあるし、市民会館の規模拡大を望む声もあり、様々な意見がある。

一番気になっているのは、西武新宿線の南側に発表の場となる公共施設が乏しいという声があるので、そういった声に対応していく必要があるのではないかということです。

それから、国で文化芸術振興基本法が定められたとき、西東京市はわりと早い時期に文化振興基本条例を制定し、周辺の各市区はそれに続いていったのですが、その後、小金井市が非常に立派な文化施設をつくったのをはじめ各市で色々つくられてきましたが、西東京市ではむしろ後退論が出るような状況にあります。しかし、やはり文化芸術の活動をしている人も非常に多いわけですから、今の市民会館をそのまま建て替えるのではなく、新しい施設をつくってほしいと思います。

特に、練習の場所が必要で、また、ここにホールも含めてつくるのは無理ですから、個人的には、ここには練習スタジオをつくるぐらいにして、田無駅の方にホールをつく

ってもらおうといいかと思えます。

○座長：

それでは、これからワークショップに入りますが、その前に今日の目標と資料1について説明します。

資料1は前回の議論をまとめたもので、あえて整理せず要素をバラバラに記載していますので、この中には、各機能で共有できる要素と、特定の機能の心臓部に当たる要素とがあると思います。

他市の先進事例も紹介しましたので、それを見て刺激を受けた部分もあるのではないかと思いますから、そこで改めて、新しい施設にはどんな機能がほしいかとか、そこでどんなことをしたい、できるとよいとかいった意見を伺って、この資料1に記載したものを深めて、バージョンアップしていけたらと思っています。

○委員D：

図書館について伺いたいのですが、資料3末尾にある6つの要素のうち、中央図書館にのみ求められるものはどれなのでしょう。

○委員A：

基本的には全部です。ここにある要素はすべて図書館に必要な要素です。

○座長：

中央図書館でなければ果たせない役割はどれかということをお伺いしているのだと思いますが。

○事務局：

一番に挙げられるのは保存書庫だと思っています。なぜなら、そこにしかない資料があって、それを活用できる場所であるのが中央図書館だと認識しているからです。

それから、中央図書館にのみあるものという点と独立した図書館システムのサーバ室があり、これも外せません。

それから、地域行政資料室も中央図書館のみの機能になります。

○委員D：

東日本大震災のとき、図書館で事故はありましたか。

○事務局：

免震書架を使っていたので大きな問題はなく1~2冊落ちた程度でした。

○委員C：

中央図書館機能で一番大切なのは、やはり蔵書機能ではないでしょうか。どこの自治体でも最低20万冊くらいはあると思うので、そこを少し考えてもらえばと思います。

また、図書館も公民館も市民会館も、どれも大切な機能です。しかし仮に中央図書館を立派なものにするということであれば他のものは入りきらなくなるでしょうから、分館を設けるとか工夫が必要になると思います。

○座長：

冒頭に現在の施設についての説明をお願いしたので、議論が今あるものに引きずられているように思いますが、資料1をたたき台にして、先進事例も見た上で、新しい施設ではどういうことをしていきたいかということ伺いたいと思います。

○委員E：

資料1の10項目に欠けているものとして、「本を読む・貸す・借りる」という図書館の機能が入っていません。

また、図書館には、1人でも、お金を持っていなくても、誰でも立ち寄ることができるという要素があると思います。

○委員A：

本を使わないと意味がないです。基本的な機能はやっぱりなくせない。その機能がない建物だったら図書館ではないです。

○委員B：

となると、公民館にも必要な機能があります。調理室・視聴覚室・ロビー・保育室といったものは必須になります。

○委員A：

何か違いますか。機能ですよ、機能。

○委員B：

そこで行われる事業が公民館の機能ですので、ハード面がなければ事業が行えませんから、必要なものだと思います。

○委員E：

保育室は3館にとって必要な機能だと思います。

○座長：

こういう部屋が欲しいということではなくて、その場でどういうことをやりたいかで仰っていただけますか。

○委員E：

そうすると「小さな子供を抱えた人が学習できる機能」でしょうか。

○座長：

小さな子供を抱えている人でないといけないのですか。

○委員E：

あらゆる人が、です。

○座長：

では、前回も上がった「学習する場」ということですね。

○委員F：

本以外の情報、インターネットや映像、音とかいうものをどう扱っていくのかも重要だと思います。いただいた参考事例を見ても、新しいからというものもあるかもしれませんが、そういった設備が充実していて、きれいで使いやすそうに見えました。

○座長：

それは図書館として必要なのですか。

○委員F：

必ずしもそういうことではないです。

○座長：

先進事例では「図書館」と言わず「メディア」という言葉を使って、広く扱っているものがありましたね。

○委員F：

仙台の「メディアテーク」という施設は中央図書館との複合施設ですが、そのあたりがよく整理されているように思いました。

○座長：

それから、岐阜の例（みんなの森メディアコスモス）もそうですね。

情報をどう扱うか、それは管理者側もそうだし、来た人たちがどう使うかということもありますね。

○委員F：

もう少し言うと、市民がそこに来て休む、情報を得る、勉強をするということが出来る、例えば、映像の使用について言えば、そこでゆっくりと鑑賞できるようになっている、そこまであって学習なのかなと思います。

○座長：

それはつまり学習につながってくるということですか。

○委員F：

そのとおりです。

○委員G：

学習に関して、高齢者の方々が受講されている講座が数多くありあすが、そういったものを継続していくシステムづくりが必要だと思います。

委員B：

地域課題の解決のための学習支援の面では、他施設や行政との連携も重要だと思います。

○座長：

地域課題の解決のための学習支援というのは、例えばどんなものがあるのでしょうか。

○委員B：

まさに公民館でやっているような事業ですね。

○委員E：

貧困家庭のサポートとかもあります。

○委員G：

困っている人への支援ということです。

○委員C：

いくつか他市の複合施設の例を見てきましたが、外から見るとすごく便利そうだが、色々な問題点が出ているようです。

例えば保育室について言うと、複合施設内の各機能の定休日が異なると、共同で行っている保育室などは毎日やっていなければならないという問題があって、真剣な議論が必要だと思います。

○座長：

それは運用面での話ですね。

○委員C：

スタジオやホールといった音の出る施設と、静寂が必要な図書館のような施設を一緒にすると、やはり苦情が出るという問題もあります。

また、外観的にこだわって、見てくれのよいところはだいたい使い勝手が悪い傾向にあるように思いますので、使い勝手を重視すべきだと思います。

○委員E：

前回、滞在スペースの確保について、特に中高生向けというようなお話もありましたが、中高生は今でも十分に滞在していると思うので、そこに限定したスペースの確保は必要ではないように思います。

○座長：

座席のゾーニングの取り方については、千代田区の例など工夫が見られたと思います。ただ、立地条件が異なれば、利用者層も利用形態も異なるわけですから、千代田区の例をそのまま西東京市に持ち込めばいいわけではありません。西東京市に合ったゾーニングの取り方を工夫してはどうか、ということで、ここではとどめたいと思います。

○副座長：

ここ数年、これからの社会教育をどうしていくべきかということを考えていますが、教わった人が教える側になっていく「循環型学習社会」といった考え方が一つの重要な要素だと思います。

○座長：

人材育成、リーダー養成といったことでしょうか。

○副座長：

そうです。教える人を育てていくということです。

それから、それぞれの施設の方が色々な機能を挙げていますが、共通する機能をまとめていくことが大事で、それにより面積的にもだいぶ縮小されると思いますので、当局の方にはそのあたりをまとめてもらいたいです。

また、今日の会の中では、図書館について蔵書機能など色々な説明がありましたが、これからの図書館は学ぶスペースをしっかりとることの方が大事なのではないのでしょうか。蔵書規模を選ぶのか、開架や学習するスペースをとるのか、その判断によって形が違ってくると思います。

図書館ネットワークにより、今はその図書館にない本でもすぐ取り寄せることができるようになったのですから、中央図書館でも蔵書庫の規模を確保するより、開架を広げたり学習スペースを充実させたりすることの方が大切なのではないかなと思っています。

○座長：

教える人を育てるというお話がありましたが、私の専門である防災の分野でも、防災教育をしようというときに、一人で全地域をまわっていくことは無理なので、子や孫のような人を増やしていくことが重要です。そういったことが、他の分野でもあると思います。

○委員B：

実はそれをやっているのが公民館で、それがもっと広がっていけるようにしなければならないというのが課題です。

○委員H：

やはり公民館の役割を考えると、団体利用だけではなく事業を主催するという役割があること、それから公民館は中央図書館・市民会館とは利用者圏が違っているということがあってと思います。要するに地域に密着したきめ細かい色々な活動をやっていて、主催事業には利用者が個人で参加できるという点がポイントになると思っています。

私は、ちょっと楽観的なかもしれませんが、今度つくる施設に公民館が入ることによって、できることが増えるのではないかなと思っています。公民館での取組やイベントが図書館にも生かされるのではないかな、市民会館にも新しい展開がもたらされるのではないかな、公民館の側から見ると、図書館や市民会館の色々な機能が使えるようになることで活動の幅が広がってくるということがあるのではないかなと思っています。

○委員B：

それはもうやっています。

例えば、田無公民館が主催する「人形劇フェスタ」という催しでは、市民会館の1階から5階まで全部を使って行っていたりします。

○委員H：

図書館との間ではどうですか。

○委員B：

田無公民館の例ではありませんが、谷戸公民館では、数年前まで「公民館まつり」という催しを図書館と一緒に行っていました。

○委員H：

ある図書館と美術館の複合施設に関わったことがあり、そこでは美術館の企画展に合わせて図書館でも関連書籍を企画的に展示するだとか、連携した取組が展開されるようになり、地域の方々の評判がとてもよかった例があります。それまでも連携していたと思っけていても、実際に一緒になってみるとまた違う取組が出てくるのではないかと思います。

○座長：

今のお話にあったようなことはとても大切で、参考事例で紹介した川口市メディアセブンでは、同じ建物の中に色々な機能が入ってはいるけれども、連携している様子が見られませんでした。そうではなくて、せっきく1つの建物に入るのですから、化学反応のようなことが期待したいと思います。

○委員F：

今の話に関連してですが、武蔵野プレイスでは「「アクションの連鎖」が起こる施設をめざして」という理念のもと、「気づく」「知る」「参画する」「創造する」というアクションの連鎖の中で、「生涯学習支援」「青少年活動支援」「市民活動支援」といった機能の連携・融合といったようなことがパンフレットにも書かれていたりして、面白いなと思いました。

○委員H：

この場では、耳触りのいい話と同時に、課題も出していくことが必要だと思っています。公民館について言えば、他の機能と一緒にすることで公民館としての可能性が広がるのではないかという期待がある一方、今まで無料で参加できていたものが失われるのではないかという懸念もあると思います。私としては、公民館が主催する事業については費用がかからずに利用できるようにしていただいた方が良いと思います。

○委員B：

法律的にも、西東京市でも無料となっていますからね。

○委員E：

武蔵野プレイスも見たことがあります。武蔵野市は別に立派な中央図書館があって、分館だから実験的なことができるという側面があります。

また、前回の会議で、蔵書は別の場所にあってもよいとかいう議論もありましたけれども、蔵書は絶対必要だと思います。

石原都知事の時代に都立の図書館での蔵書がやめられてしまって、各市で蔵書を残していかなければならなくなったという経緯もあります。

電子書籍の議論もあると思いますが、以前に図書館協議会で提言も出していますけれども、まだそこに至っていないという現状にあります。

ですから、紙ベースでの資料の保存というのは、図書館の大事な機能だと思います

○委員A：

中央図書館だということところがポイントですよね。武蔵野プレイスのような素敵な図書館もほしいですが、あそこは全部開架で蔵書はありませんから。

○座長：

それから情報についてですが、これは私たちの生活を根底から変えているもので、音楽のミキシングも今では電子的にできてしまうし、映像も簡単に撮ってアップできてしまいますので、そういった情報をどう扱っていくのかというのは、色々なことを考えていく中でキーになるのではないかと思います。

○委員I：

市の方にお尋ねしたいのですが、公会堂と図書館と公民館の主管課は同じなのでしょうか。

○事務局：

市民会館は生活文化スポーツ部文化振興課、図書館は教育部図書館、公民館は教育部公民館となります。

○委員I：

では、それらが一緒になったときには、その管理システムは何処が担うのでしょうか。

○座長：

それは、運営上の課題として今後議論すべきものということによろしいでしょうか。

○委員I：

なぜ、これをいうのかというと、先ほどから盛んに「共有できる」と言われていますが、各施設の所管が別で休館日も別ということであれば、共有はできても、どこかが休館のときでも全部が可動せざるを得ず、結果的に常に大きな負荷がかかるようになるかもしれないですね。

○座長：

もし、そういうことが必要なら所管を変えていけばよいと思います。

○委員I :

それはできるのですか。

○座長 :

それをこの場で言うことはできないかもしれませんが、既定の枠組の中で考えなければならないわけではなく、そういったことも含めて新しい提案をしていきたいと思いますというのがこの懇談会の趣旨ではないでしょうか。

○委員I :

それは理想ですね。役所の機能がそんな簡単に変わりますかね。

○副座長 :

図書館・公民館には、高齢者の方々がたくさん来ていますが、これからの将来を担う子どもたち、小学生はまだしも、中高生は余り来ていないように思います。来ないのは部活などの事情もあるのかもしれませんが、これから西東京市をふるさととして成長していく中高生を、もっと育てていくような視点での施設にしていくことが大事ではなくことではないかと思う。

○委員I :

例えば、学習室という機能は統合できるように見えますが、どこの所管にしておくかでいつが休みかが変わってくるのではないのでしょうか。そうすると結局それぞれの施設が管理する線を引いて、別々に学習室や会議室を用意していくことにならないでしょうか。

(「そうはならないでしょう」等の発言複数あり)

○委員H :

今の指摘はもっともで、これからの課題として意識しておくべきだと思います。

それから、今日の会の中で、図書館について「中央図書館」であることの重要性が指摘されて、私もとても大切な観点だなと感じました。個人的には地域資料の保存は大事にしなければならない要素だと思います。

今日のWEBニュースで見たのですが、鎌倉の図書館で、学校に行きたくない子どもたちに図書館がSNSで「図書館ならどれだけいても怒られないからおいで」といったメッセージを発信しているという記事がありました。そういうふうに個人で滞在できる施設が少ない、特に、西東京市にはとても少ない気がします。新しい施設がそういう場になることを期待しています。

それから、蔵書数の議論については、現在の数は示されましたが、本来の数がどうあるべきか示されていないので、どこかのタイミングで示されるべきだと思います。

○委員D :

皆さんのお話を聞いていると、あれもこれも議論になっていますが、このままでは、どれもこれも中途半端になるのではないかと思います。次回は、これは絶対に譲れないというものに絞っていくべきではないでしょうか。

○座長：

前回・今回は議論を膨らませてきたので、他との重複の議論や絞り込みは次回以降の課題としたいと思います。

**議題4 その他**

- ・次回は9月20日（日曜日）視察（具体的な視察先は座長と事務局とで調整）
- ・次回懇談会は10月19日（月曜日）午後5時～（場所未定）

以上